






平成22年 11月 18日

### 渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録と 自然環境に配慮した治水対策の推進に関する請願

加須市議会議長 様

(財)埼玉県生態系保護協会 加須支部

(請願人) 住所 加須市下三保 455-1  
氏名 上川政彦 

(紹介議員) 内田 圭一   
二宮 良 

#### 要 旨

渡良瀬遊水地をラムサール条約湿地に登録することについて、そして自然環境に配慮した治水対策が積極的に推進されるよう国に対して意見書を提出していただきたく請願いたします。

#### 理 由

埼玉県、栃木県、茨城県及び群馬県の4県にまたがる渡良瀬遊水地は、環境省のレッドブックに絶滅危惧種として掲載されている数多くの植物、昆虫及び鳥類が生息する貴重な自然の宝庫となっております。

平成22年9月、環境省はラムサール条約湿地としての国際基準を満たすと認められる湿地(潜在候補地)を全国から172か所を選定しましたが、その中に渡良瀬遊水地が含まれております。

渡良瀬遊水地がラムサール条約湿地に登録される意義は極めて大きく、貴重な自然の宝庫を次世代に引き継ぐための推進力となるものです。

一方、渡良瀬遊水地は周辺地域や利根川流域を洪水から守る治水の要となる重要な役割を果たしております。平成22年3月、国は「渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画」を策定し、環境保全と治水機能の向上に配慮した湿地の保全・再生を進めております。このような取り組みは、環境の時代といわれる今日、不可欠な取り組みであり今後も積極的に推進されるべきものです。

以上の理由から、渡良瀬遊水地の豊かな自然を未来につなげるため渡良瀬遊水地をラムサール条約湿地に登録することについて、そして自然環境に配慮した治水対策が積極的に推進されるよう国に対して意見書を提出していただきたく請願いたします。

## 議第4号議案

### 渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録と自然環境に配慮した治水対策の推進に関する意見書

埼玉県、栃木県、茨城県及び群馬県の4県にまたがる渡良瀬遊水地は、本州最大級のヨシやオギを主体とする氾濫源の湿生草原を有する総面積33km<sup>2</sup>の遊水地であり、環境省のレッドブックに絶滅危惧種として掲載されている数多くの植物、昆虫及び鳥類が生息する貴重な自然の宝庫となっている。

平成22年9月、環境省はラムサール条約湿地としての国際基準を満たすと認められる湿地（潜在候補地）を全国から172箇所選定したが、その中に渡良瀬遊水地も含まれている。

渡良瀬遊水地がラムサール条約湿地に登録される意義は極めて大きく、貴重な自然の宝庫を次世代に引き継ぐための推進力となるものである。

一方、渡良瀬遊水地は、周辺地域や利根川流域を洪水から守る治水の要となる重要な役割を果たしている。国は、平成22年3月に「渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画」を策定し、環境保全と治水機能の向上に配慮した湿地の保全・再生を進めている。このような取り組みは、環境の時代といわれる今日、必要不可欠な取り組みであり今後も積極的に推進されるべきものである。

以上の理由から、渡良瀬遊水地の豊かな自然を未来につなげるため、渡良瀬遊水地をラムサール条約湿地に登録すること。そして自然環境に配慮した治水対策が積極的に推進されることを要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成 年 月 日

埼玉県加須市議会

提出先

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
環境大臣  
国土交通大臣

平成23年3月16日提出

加須市議会産業建設常任委員会  
委員長 石 井 敏 夫

議決第40号 平成23年3月16日 原案可決

加須市議会議長 吉 田 健

